



ニューヨーク
補習授業校
学校だより

日本語を話す仲間と日本語で学ぶ補習校

補習校協育



令和7年(2025年)5月29日

第9号

校長 小島 昇

W校中高等部球技大会

1週間前に生徒総会を開催したW校の中高等部生徒たちが、初夏の清々しい気候のもと球技大会を楽しみました。補習校で日本語を話す仲間と過ごす時間は、生徒たちにとって特別な時間であり、このような



行事を共に楽しむ中で学年の枠を越えた親睦を深めることができます。補習校に通うということは、日本語で学ぶことを主たる目的としつつも、生徒たちの様子からは日本語を話す仲間と共に過ごす時間そのものに大きな価値があることが伝わってきます。



今回も保護者ボランティアの皆様のほか、卒業生もボランティアとして球技大会の運営を支えてくれました。たくさんの方の協力により「補習校協育」は成立しています。ありがとうございます！

バーズ教育相談員による保護者対象セミナー

しし校では保護者会主催セミナー「日本語が苦手なお子さんを親としてどのようにサポートしていくか」を開催しました。今回は講師を務めたバーズ教育相談員の話だけでなく、保護者代表の特別ゲストがご自身の子育てを振り返り、親として日本語を学ばせる意味をどのよう



に捉えるかを語り、参加者の共感を得ていました。

参加者からは「両親それぞれの言語を学んでもらうことは愛なんだということが印象に残りました。」「もっと先輩方に相談してみようと思います。」「言語だけでなくコミュニティに関わることの大切さという部分が心に残りました。」といった感想が残されました。本校への入学を検討されている方にも広くお聴きいただきたいと思えるセミナー内容でした。